

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	准看護学校事業助成				所管	健康部	
						健康課	
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	昭和 5 1 年度	[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	下谷医師会立看護高等専修学校補助金交付要綱等			
	事業対象	下谷医師会立看護高等専修学校運営					
	事業目的	看護師不足の解消と地域医療に貢献する看護師の定着を図り、区民の保健衛生の向上を目的として、学校運営経費の一部を助成する。					
	事業内容	看護高等課程准看護師の育成のため、学校の運営経費及び校外指導費の一部を助成する。 定員1学年 40名 2学年40名 総定員80名					
	委託の有無	なし	委託内容				
	補助金の有無	なし					
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度
	活動指標	助成件数	件	1	1	1	1
		成果指標	区内就業者数	人	10	4	9
		准看護師免許取得者数	人	40	38	33	36
	決算額	(単位：千円)			4,080	4,080	4,080
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			666	511	765
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			0	0	0
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			4,080	4,080	4,080
		総経費			4,746	4,591	4,845
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
一般財源(区負担額)			4,746	4,591	4,845		
前回評価から改善した事項	入学式、戴帽式等の学校行事出席の際及び助成金交付決定時等、折に触れて区助成金の趣旨を伝えたことで、准看護師免許取得者数の増につながった。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	台東区の高齢化率は他区に比べ高いことから、看護師の需要は高く、区内唯一の准看護師養成施設を支援することは、地域医療の充実を図るうえで必要である。				
	効率性	3	学校の運営規模等に大きな変化はない。				
	手段の適切性	3	安定した学校運営により、地域医療に貢献する看護師を育成するには、有効な手段である。				
	目的達成度	3	区内就業者数は若干ではあるものの、一定数は就業している。				
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
近隣区には同様の学校がなく、本区を中心としたエリアの潜在的な需要は多い。区内唯一の准看護学校として、教育環境の維持向上及び医療の高度化に対応した人材の育成・確保のため引き続き助成を行い、卒業生の中から一人でも多く区内就業に繋がられるよう対策の検討を今後も学校へ働きかけていく。					維持		